

一般質問通告書（総括・分割）

| 質問者氏名 | 杉谷 伸夫 | 所属会派名 | 会派に所属しない議員 |
|---|---|-------|------------|
| 表題 | 質問事項（質問の要旨） | | |
| <p>1.</p> <p>ゼロカーボンシティの実現に向けた市長の覚悟を問う</p> | <p>ゼロカーボン社会の実現へ、世界は本気で動き出している。向日市ゼロカーボンシティ宣言は、取組みスタートの宣言であり、必ず実現しなければならない。取組みについて市長の覚悟を問う。</p> <p>(1) 向日市は、地域のゼロカーボン実現にむけてどう取り組んでいくか</p> <p>①向日市で、どのような再エネの創出が可能か調査研究を進めることについて</p> <p>②向日市で、再エネのゾーニングを設定することについて</p> <p>③国の脱炭素先行地域づくり事業や脱炭素重点対策加速化事業に参加することについて</p> <p>④現在の延長でない新たな取組みを進めるための、組織・人員体制の整備について</p> <p>(2) 市民との連携についてどう進めていく考えか</p> <p>(3) 来年度の向日市公共施設の電力調達方針について</p> | | |
| <p>2.</p> <p>乙訓環境衛生組合の一般廃棄物処理施設整備基本構想について</p> | <p>昨年3月に、乙訓2市1町で構成する一部事務組合である乙訓環境衛生組合が「一般廃棄物処理施設整備基本構想」を策定した。しかしその内容は市民にほとんど知らされていない。本市への影響と今後について問う。</p> <p>(1) 現在想定されている一般廃棄物処理施設整備のスケジュール、事業費規模と本市財政への影響について</p> | | |

| | |
|--|--|
| | <p>(2) 基本構想の位置づけについて。今後事業計画策定、事業実施までに、市民意見が反映される機会はあるか。</p> <p>(3) 向日市のごみ政策と財政に大きな影響を与えるので、計画策定の節目節目に、向日市議会に報告・説明頂きたいが、いかがか。</p> |
| <p>3. 生活困窮者への支援と、福祉なんでも相談窓口の設置について</p> | <p>新型コロナ感染症の影響に加え、物価高騰により、生活に困難を抱える市民が増えている。生活福祉資金特例貸付の返済が1月から始まったが、返済できない方が、多数にのぼると聞く。この方々への向日市の支援策を聞く。また市民が気軽に相談できる「福祉なんでも相談窓口」の設置について検討頂けないか。</p> <p>(1) 生活福祉資金の特例貸付の返済の状況と、返済困難者への支援について</p> <p>①今年1月から始まった本市における返済の状況 ②返済免除、返済猶予、その他返済困難者に対する相談支援の現状について ③新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援給付金や、家計改善支援事業の実績について ④特例貸付の返済困難の相談から、生活保護の相談につながった件数、保護開始の件数 ⑤全国的に、生活困窮される方が顕在化している一方で、生活保護の利用は増えていないようです。その原因と、生活保護の利用促進をはかることについて</p> <p>(2) 福祉なんでも相談窓口を設置することについて</p> <p>特例貸付の返済困難者だけでなく、多くの市民が生活困難の課題を抱えている。そしてその課題は、ひきこもり当事者と同居の親が高齢化して孤立する8050問題などのように、複合的で多様となっている。生活に困難を抱える市民に気軽に相談頂き、制度の垣根を越えて対応できる「福祉なんでも相談窓口」の設置を検討いただけないか。</p> |

